VMP《day 1, 8, 15, 22》療法

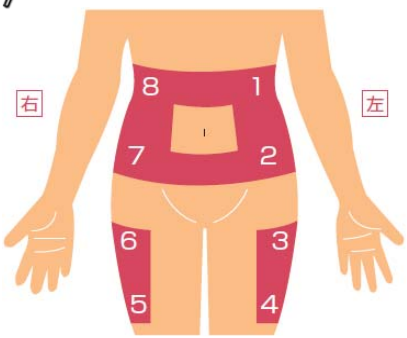
治療のスケジュール

※症状や経過に合わせて
お休み期間は変わることがあります

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果	スケジュール			
				1日目	8日目	15日目	22日目
	ベルケイド 成分名 （ボルテゾミブ）	皮下注射	骨髄腫細胞を減らします	○	○	○	○
	アルケラン 成分名 （メルファラン）	内服	骨髄腫細胞を減らします	1日目～ 4日間 1日1回 錠/回		お休み	
	プレドニゾロン	内服	骨髄腫細胞を減らします	1日目～ ❗4日間 1日1回 錠/回		お休み	

5週間治療を繰り返し、1週間お休みします

皮下注射の注意点



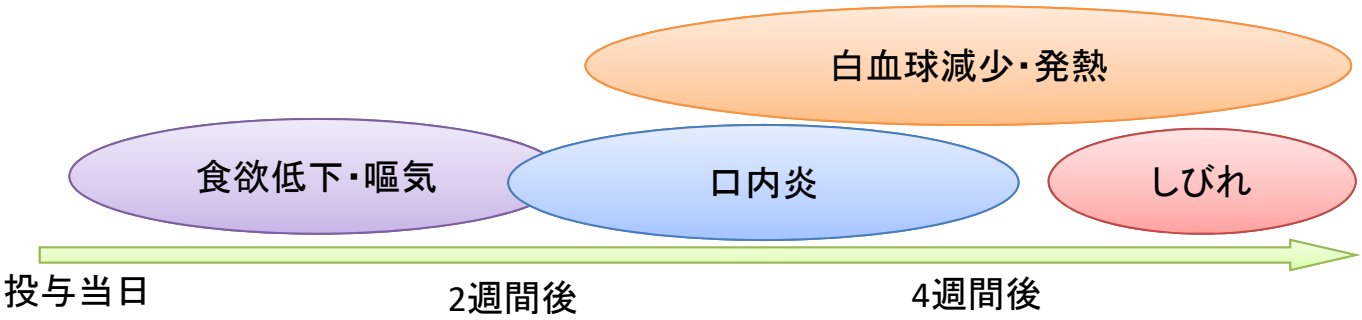
- 同じ場所に注射を続けると、皮膚や皮下組織の質が変化して、薬の吸収が悪くなることがあります。
また、皮膚炎症が起こりやすくなってしまいます。

☆ そのような副作用予防のため、原則として、左の8箇所を番号通りに皮下注射していきます。

❗プレドニゾロンについて

1日目は点滴で投与し、残りの3日間だけ内服する場合もあります

起こりやすい副作用の発現時期と対処



食欲不振・吐き気、おう吐

- 抗がん剤を投与した日から1週間後ごろまで、食欲が落ちたり、吐き気やおう吐といった症状が見られることがあります。
- 無理せずに、食べやすいものを食べられる量から摂るようにしましょう。

発熱・疲労感

- 38℃くらいの熱が出ることがあります。また、疲労感は投与後2～3日たってからあらわれることがあります。
- 無理せずに体を休め、体力の温存を心がけてください。

下 痢

- 便の回数が増えることがあります。下痢の場合は脱水予防のためスポーツドリンクなどで水分補給を行って下さい。
- 1日の便の回数が4回以上増えた場合は、病院に連絡して下さい。

末梢神経障害

- 手足のしびれや感覚異常が現れることがあります。
- 腸の活動が低下して便秘になることがあります
- 注射の回数を重ねると、徐々に起こる頻度が高くなる傾向があります。
- 症状が現れたら早めに医師にお知らせ下さい。

骨髄抑制

白血球：感染症を防ぐために必要な成分

- 抗がん剤投与から１～2週間後に白血球が減少することがあります。
  白血球が減ると体の抵抗力が弱くなり感染症にかかりやすくなります。
- 感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、手洗い・うがいを
  こまめに行いましょう。

血小板：出血をとめるために必要な成分

- 血小板が減少してあざや、出血が起こりやすくなることがあります。
- けがや打撲に注意し、歯磨きや鼻かみはやさしく行いましょう。

赤血球：貧血を防ぐために必要な成分

- 赤血球中のヘモグロビン量が少なくなり貧血が起こることがあります。
- 買い物や車の運転などは、体調に無理のないよう行いましょう。
- 安静を心がけ、十分な睡眠・休養をとりましょう。

治療による肺炎（間質性肺炎）

以下の症状はある場合は、点滴治療薬による肺炎が起きている可能性があります。症状があらわれた場合は、必ず病院に連絡して下さい。

- 運動時だけではなく、日常生活の動作をするだけで、息切れ・息苦しさがある。
- 痰がでない乾いた咳がしつこく続く。
- 微熱が続く。

注射した皮膚の副作用

- 注射部位の皮膚がかゆくなる、腫れる、硬くなることがあります。
  塗り薬などで治療が必要な場合があるため、症状をお伝えください。

自宅でこのような症状が現れたら、必ずご連絡下さい

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じるとき
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 注射した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきた

病院へ電話する前に確認しましょう

① 診察券番号
② おかかりの診療科
③ 主治医の名前
④ 抗がん剤治療中であること
⑤ 気になる症状（具体的に）

連絡先

横浜市立大学附属病院　**TEL：045-787-2800（代表）**

《平日8:30～17:00》
おかかりの診療科外来を
伝えてください

《平日の夜間および休日》
救急外来と伝えてください

※ここに診察券の内容を写しましょう

診察券番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2016/12